



<プレスリリース>

2014年5月1日

報道関係者各位

CYBERDYNE 株式会社
代表取締役 CEO 山海嘉之

CYBERDYNE 株式会社
ロボットスーツ HAL 医療用による治療が「エジソン賞」の金賞を受賞
革新的な治療技術として米国 Edison Universe が評価

CYBERDYNE 株式会社（茨城県つくば市学園南 D25 街区 1）の革新的ロボット治療機器「ロボットスーツ HAL 医療用」が、2014年4月30日にサンフランシスコの Edison Awards Gala にて、Edison Universe の「2014 Edison Awards（エジソン賞）」のサイエンス・メディカル分野の治療分野で金賞を受賞し、同日に表彰がなされました。

受賞理由は、ロボットスーツ HAL 医療用による脳・神経・筋系の疾患患者への機能改善治療がドイツで公的労災保険の適用を受けるなど、世界最先端の革新的な治療として高く評価されたことによります。

なお、日本の製品・サービスが同賞の同分野での金賞を受賞したのは今回が初めてであり、今後、日本発の革新的医療機器・医療技術のグローバル展開が期待されます。



Edison Award（エジソン賞）は、世界的に有名なトーマス・エジソンの名を冠することからも分かる通り、新製品やサービスの技術革新と革新者を称える授賞プログラムであり、AMA（米国マーケティング協会）が1987年から各分野における「世の中を変える革新」を表彰してきており、2008年からは501(c)(3)団体の Edison Universe が運営しています。製品開発、デザイン、工学、科学、マーケティング、教育など多様な分野のプロフェッショナル 3000 人を超える委員会によって「Concept」「Value」「Delivery」「Impact」の四つの軸から総合的な評価が行われ、受賞者が決定されます。（www.edisonawards.com）



当社は2004年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて依頼、世界最先端のサイバニクス(※1)技術を駆使したロボットスーツ HAL®の開発とその社会実装に向けた取り組みを進めてまいりました。世界をリードする HAL®の基板技術開発や医療機器としての先進技術開発に加え、ロボットスーツ HAL®を医療機器として国内外に展開すべく事業活動を推進し、研究開発、品質マネジメントシステムの構築、規制要求への適合性評価を並行して準備してきました。

2012年には当社に対する ISO13485 (医療機器の品質マネジメントシステム) 認証を取得、2013年にはロボットスーツ HAL®に対する欧州における医療機器認証を取得しました。ドイツにおいては、脳・神経・筋系の疾患患者に対するロボットスーツ HAL®を用いた機能改善治療が労災保険の適用となり、2013年から保険適用治療が開始されました。

※1 サイバニクス：

サイバネティクス、メカトロニクス、情報技術の中核として、IT 技術、ロボット工学、脳・神経科学、生理学、行動科学、心理学、法学、倫理学、感性学を融合複合した新しい研究領域で、筑波大学大学院の山海嘉之教授が創設。



2014 Edison Awards 授賞式での写真 (米国サンフランシスコ：4月30日現地時間)

会社概要

社名 CYBERDYNE 株式会社 (サイバーダイン)
住所 茨城県つくば市学園南 D25 街区 1
資本金 59 億 46 百万円
従業員数 97 名 (役員 10 名含む)
設立 平成 16 年 6 月 24 日
事業内容 医療福祉機器の開発・製造・販売
証券コード 7779

報道関係専用問い合わせ先

CYBERDYNE 株式会社
<http://www.cyberdyne.jp>

宇賀伸二 TEL (029)869-8446 (直通)
uga_shinji@cyberdyne.jp